

「臨床病期Ⅰ期肺癌における術後 upstage の予測因子としての CTR の検討」

研究実施のお知らせ

1. 研究の対象となる方

2013 年 1 月 1 日から 2022 年 12 月 31 日に当院第二外科で肺癌の手術を受けた方

2. 研究の目的

肺には右に 3 つ、左に 2 つの大きな区画があり、それぞれを肺葉と呼びます。肺癌の標準手術は 1990 年代以降、腫瘍のある部屋を一つ切除する肺葉切除が標準手術とされてきました。しかし近年、肺の機能をより温存する目的でより小さく切除する方法も治療の効果が劣らないことが分かってきました。しかし、小さくとったために再発率が上がってしまう症例も含まれており、そのような患者さんを手術前の検査で見分けることが大切になっています。今回はそのような症例を画像所見から判別し、除外できるようにすることが目的です。

注釈 1) upstage

術後に術前の想定よりも病気が進行していることが判明することを指しています。

注釈 2) CTR

画像上癌の「硬い部分の直径」を「全体の直径」で割った数字です。

3. 研究の方法

カルテに記録されている検査結果や画像、手術で取り出した病変の情報を調べ、統計学的に検討します。

4. 研究期間

研究機関の長の許可日 ～ 2027 年 03 月 31 日

(試料・情報の利用及び提供を開始する予定日：2025 年 12 月 01 日)

5. 研究に用いる試料・情報の項目

情報：年齢、病歴、治療歴、切除検体の病理所見、診察最終日など

試料：該当なし

6. 外部への試料・情報の提供

該当なし

7. 研究組織（試料・情報を利用する者の範囲）

この研究は以下の責任者のもとで実施します。試料・情報の利用者は第二外科学講座の研究者のみです。

【研究責任者】

山梨大学医学部 第二外科学講座 内田 巖

【研究分担者】

山梨大学医学部 第二外科学講座 松原 寛知

8. 試料・情報の管理について責任を有する者

山梨大学

9. 個人情報の取扱いについて

収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的处理を行います。国が定めた倫理指針（「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

10. 利益相反（企業との利害関係）について

この研究のために、企業等からの資金提供はありません。したがって、この研究の計画、実施、発表に関して可能性のある利益相反は存在しません。また、研究責任者及び分担研究者は、利益相反について本学医学研究利益相反審査委員会に申告し、適切な実施体制であることの審査を受けております。

11. お問い合わせ等について

この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先まで、メール又は FAX にてご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

また、患者さんや代理人の方のご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧くださいことや文書でお渡しすることができます。希望される方は、以下までメール又は FAX にてご連絡ください。

＜照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先＞

山梨大学 第二外科学講座 内田 巖

メールアドレス：uchidat@yamanashi.ac.jp

TEL：055-273-9682

FAX：055-273-6767